

正徳寺 寺報「報」第8号をお送り
します。

去る十月十七日に正徳寺本堂において
報恩講が勤修されました。

十一時から法善寺前住職 中山静麿

（なかやましずまる）師にご法話をいた
だきました。

親鸞聖人の書かれた「正信偈」のお話で
した。

その後に普段でしたらすぐに法要が始
まるのですが、今回初めて帰敬式（きき
ようしき）を執り行いました。帰敬式と
は、阿弥陀さまのまえで仏弟子（ぶつで
し）になる誓いをたて法名（ほうみょう）
をいただく儀式です。帰敬式をお受けし
たのは、ご門徒の貴島さまです。京都の
本山 東本願寺で帰敬式を知り、ご自分も
受けられないかとご相談を受けての帰敬
式でした。

なぜ仏教では法名をつけるのでし
ょうか。

むかしは名前で身分や出生がわかってし
まいました。平等を宗とする仏道では世
間のしがらみのない仏弟子としての名前
を付けて呼び合っていました。それが法
名の由来です。

本来は、戒律をいただいて生涯守ること
を約束していただいたので戒名と申し
ました。しかし浄土真宗の開祖である

親鸞聖人は、人間は条件によって守り
たくても守れない時もあるし、破りたく

ても破れないものであると考え、仏法そ
のものをいただくお名前とし法名と申

します。

あれ？法名って亡くなってからいた
だくものではないの？とお思いの方も

いらつしやると思います。本来は上記の
ように自らが人生を歩む時に仏道がよ

って立つ大地であるとの宣言から受け
たものでした。しかし、日々の生活の忙

しさからかご縁のなかった方でも、ご一
緒におなじ浄土に生まれたいとの希望

から、亡くなってからでも法名を授ける
習慣が生まれ、いまでは多くなっていま

ったのです。

ご希望の方は、今回のように報恩講で
お受けすることができます。ご一緒に仏

法にふれながら、自らの法名について住
職と相談して、仏法にのっとったお名前

を付けたいと思います。ご興味のある方
は、ぜひお寺までご相談ください。

平成二十六年 年回表

一周忌	平成二十五年
三回忌	平成二十四年
七回忌	平成二十年
十三回忌	平成十四年
十七回忌	平成十年
二十三回忌	平成四年
二十七回忌	昭和六十三年
三十三回忌	昭和五十七年
三十七回忌	昭和五十三年
五十回忌	昭和四十年
百回忌	大正四年

東日本大震災 現地報告

去る十一月のおわりに宮城県石巻市小網倉浜の仮設住宅に行つてまいりました。最近はなかなか機会があわずに東京で出来る支援を続けてまいりましたが、久しぶりに東北に行つてまいりました。

小網倉浜こあみくらばまに訪れるのは二度目になります。一年半ぶりの訪れでした。現地は、産業の基盤きばんとなる港部分みなとぶぶんの復興ふっこうはずいぶんすすみ、地盤沈下じばんちんかした棧橋さんばしも新たにになりカキ加工場も再建されておりました。

しかし個々の生活に関しては、目に見える変化が少ないのが現状です。二年後に復興住宅ふっこうじゅうたくを建てるための造成ぞうせいがやつと始まつたとのことでした。しかも来年度からは仮設住宅かせつじゅうたくの賃貸課金ちんたいかきんがはじまり、まだまだ厳しいとおっしゃっていました。今年からやつと養殖カキようしょくかきの卸おろしも始まつたのですが、仲買なかがいの業者さんがやつと少しずつまわつてきはじめてところで、採とれてもまだまだ売れない（流通りゅうつうできない）状態じょうたいのようです。これから必要なのは、産業復興さんぎょうふっこうのための人手ひとのようでした。

震災後しんさいごはじめて現地に立つたとき思ったことは、「明日は我が身」ということです。「情なさけは人の為ならず（巡めぐり巡めぐつて我が身にかえる意）」我がことのようにお手伝いしていけたらと思います。

★インターネットでも、不定期に行事やイベントの予定をお伝えしています。

- ・ 住職ツイッター @syaku_rikun
- ・ 正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺



▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせ

ください。

とくに土曜日・日曜日などは混み合いますので、お早めにご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の

一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、日程が決まる前にお寺にご連絡ください

い。他の方のお約束が入っており、

先に決められた日程ではお受けできない場合がございます。

よろしく願いいたします。

★声明会（お経の練習会）

毎月最終土曜日 午後三時～四時半

要予約（急な法務等で変更あり）

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派修行集」（赤本）

450円

次回は十二月二十一日（土）

一月二十五日（土）

ご参加される方は、前もつてご連絡ください。

電話 03 (3471) 3938

shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp

■ 当寺の宗旨は 真宗大谷派です。

■ 本尊は阿弥陀如来です。

■ 宗祖は親鸞聖人です。

■ 京都駅前通りの烏丸七条にある

真宗本廟（東本願寺）を本山とします。

■ 教への要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。